

1 周辺への空港関連企業の誘致プロジェクトについては、圏央道の推進とも相まって、長期的に取り組んでいくような段階です。

**A** 都市建設部長 成東駅周辺整備プロジェクトについては副市長並びに関係課長で構成する庁内検討会議を設置し、検討にあたり、事業の実現可能性について慎重に調査しながら、進めていく必要があると考えております。

今後、地元関係者の意向や市の財政状況を含め、さまざまな角度から検討を進め、年度末を目途に整備の方向性や事業課題を取りまとめたと考えています。

**A** 経済環境部長 プロジェクトの検討報告と言う形で、オライはすぬまを中心とした観光振興についてご提言をいただいております、その内容を検討いたしましたして、実施の是非や優先順位を定め、拠点づくりの見地から検討を進めてまいりたい。すでに現在実施しているものもあります。観光コンシェルジュ等の設置については、観光協会内に観光コーディネーターを置きまして、市内の観光案内や観光コ



成東駅前観光案内所

ースの作成を行っております。海岸門扉の移動という提言があり、県へ要望し、実施に向けて検討していただいております。

山武市観光協会でホームページを新設いたしました。必要な情報の発信が可能となつて、現在、開設しております。河津桜の名所づくりのご提案があり、日本さくら会から200本の苗木を頂き、蓮沼海浜公園周辺に植樹し、地域の景観の向上に努めてまいります。

スポーツイベントの誘致というご提案があり、2009年ツール・ド・ちばを誘致し、蓮沼海浜公園をスタート、最終日のゴールということで開催いたしました。

**Q** 蓮沼出張所の有効活用と道の駅周辺の観光振興

について、今後の方向性はどうか。

**A** 市長 マスタープランを作る中でも、いろいろ検討されていると思いますが、やはり蓮沼地区の将来と観光とは密接なかかわりを持っていくと思います。県の施設を中心とする海浜地区の振興をどうするかということと、ご努力でここまで育てていただきましたオライはすぬま、その隣に庁舎があります。道の駅周辺の整備を考えます時に、庁舎の利用がいかにおライはすぬまにいい影響を与えるか。まだまだしつかりしたこの建物をごどのように活用するかと言うことは、蓮沼地域のコミュニティにとつて、大変重要な問題でありますので、私どもとしても、しっかりとその面を考えて、誤らない活用方法を、議会のご意見、地域のご意見もいただきながら、考え進んでまいりたいと思っております。

**Q** 市民から行政に対する期待は大変大きいものがございます。地域コミュニティの推進、住みよい山武市の建設のため、さらに職員の皆様には柔軟でかつ丁寧な対応

と、市民、議会との協働で、新しい山武市の時代を目指していただきたいと思っております。また、市長には、その方向性をしっかりと示していただきたいと強く要望いたします。最後に、木戸川に橋をかけるといふことについて、再三質問もさせていただいておりますが、現在の進捗状況についてお聞きします。

**A** 都市建設部長 飯岡一宮線バイパス整備の状況につきましましては、作田川から横芝光町までの11・5kmの間で進められております海岸線道路計画です。これには片貝工区、小松浜工区、屋形工区の3つがありまして、整備が図られているところです。

**Q** 市に登録している認定農業者は何名か。

**A** 経済環境部長 認定農業者の推移は、平成18年度末で235名、平成19年度末で240名、平成20年度末で274名、平成21年10月末現在では332名であります。

**Q** 認定農業者に役立つ支援策はどのようなものか。

**A** 経済環境部長 市単独の支援制度として、認定農



井野 敬一 議員

個人質問

**Q** 農業について認定農業者とは。

**A** 経済環境部長 農業経営基盤強化促進法で、市町村は、農業経営の規模、農業従事の態様等、農業経営の指標を定め、基本的な構想を策定することとなっております。農業者が認定農業者になるには、この基本的な構想に掲げられた指標を実現するために、農業経営改善計画を作成し、それを市が認定し、認定農業者となります。

**Q** 市に登録している認定農業者は何名か。

**A** 経済環境部長 認定農業者の推移は、平成18年度末で235名、平成19年度末で240名、平成20年度末で274名、平成21年10月末現在では332名であります。

**Q** 認定農業者に役立つ支援策はどのようなものか。

**A** 経済環境部長 市単独の支援制度として、認定農